



いっ 巖のしらかし

《白檀中学校だより 第16号》

令和7年2月21日発行

文責:校長 西村 拓司



ホームページ

インドとの国際交流学習会を終えて(2年生)

(文:2年英語科教諭 山下 夏香)

去る2月6日(木)に、JICAの協力を得て、インドのニューデリーにあるムニ・インターナショナルスクールの小学6年生から中学2年生までの18名の生徒と本校2年生とでオンラインで交流会を行いました。インドの生徒たちは日本語を勉強していて、流暢な日本語で自己紹介をしてくれました。さらに、英語でインドクイズ、日本クイズを出し合ったり、お互いの国について質問しあったりしました。最後に、けん玉の技を見せ合ったり、勝負したりしてとても楽しい時間を過ごしました。2年生の生徒たちは、事前に英語で準備していたクイズや質問がうまくいったことも喜んでいましたが、アドリブであいさつや質問をしたときに、英語や日本語、ヒンディー語で実際にコミュニケーションがとれていると実感できたことがとても嬉しかったようでした。ヒンディー語で、ナマステ(こんにちは)、ダンニヤワード(ありがとう)、フィルミレンゲ(またね)と3つのことばを練習していましたが、練習中は少し恥ずかしそうにしていた本校の生徒も、当日はみんな笑顔で大きな声であいさつしていたことが印象的でした。



日本語と英語で自己紹介



けん玉の技を披露



3色の紙を使って、クイズ大会

インドの生徒の感想

- ・日本クイズがおもしろかった。彼らはわたしたちのためにたくさんおもしろいクイズをだしてくれた。
- ・日本のことが知れてよかった。
- ・日本の生徒に自己紹介ができる良い機会だった。
- ・けん玉が楽しかった。日本の生徒が完璧にけん玉をするのに驚いた。競争して楽しかった。
- ・日本の生徒がヒンディー語を話したことに驚いた。ヒンディー語で挨拶をしてくれた。

白檀中学校2年生の感想

- ・日本クイズで、インドの人たちが積極的にクイズに参加してくれていて、日本のことを知ってくれていると思って嬉しかった。
- ・インドについての気になることが聞けたし、インドの人が日本のことで気になっていることが分かった。
- ・お互い住んでいるところも言語も違うけれど、会話ができるものなんだなと感じた。
- ・みんなでけん玉ができて楽しかった。
- ・学校の中をリモートで紹介し合ったら、インドのことをもっと知れそう。

ちはやふる～百人一首大会～(1年生)

去る1月28日(火)に、1年生で百人一首大会を行いました。朝の学習や冬休みにしっかりと覚えた生徒もいて、本番では、取り札に集中して、会場がとても緊張感に包まれました。お互いに自分のベストを尽くして頑張りあい、励まし合い、讃え合った百人一首大会は、心温まる新年の良い思い出となり、学年の絆を深める大会となりました。



ユニセフ学習会・しらかし会館へのパネル展示

2年生で取り組んだ『ユニセフ・キャラバン学習会』のパネル展示を学校運営協議会、白樺町連合自治会のご協力で、「しらかし会館」で行っています。パネル展示は2月18日(火)から3月7日(金)までです。世界で支援の必要な子ども達のためにも、募金活動も合わせて行っておりますので、是非とも募金のご協力もよろしくお願い致します。



令和8年度奈良県立高等学校 入学試験選抜が変わります！(現2年生より)

令和8年度県立高校への入学者の入試制度につきまして、先日、コドモンの添付文書にて詳しい内容等をお知らせ致しました。その時の簡単な概要は下の通りです。

※詳しくは、コドモンの添付文書「令和8年度 入試制度が変わります」で内容をご確認ください。

【主な変更点】

- ▶ 現行の特色選抜と一般選抜を一本化して「一次選抜」として実施します。
- ▶ 受検機会の確保のため、一次選抜では第1希望、第2希望の2校まで出願できます。
- ▶ 第1希望は第一出願期間に、第2希望は第二出願期間に出願できます。

